

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2022年8月分)

2022年9月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[ウクライナに関する大統領評議会臨時会合の実施\(22日\)](#)

●[大統領評議会定例会合の実施\(24日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[新型コロナウイルス制限措置の変更\(4日\)](#)

イ. スルプスカ共和国(RS)

●[中国による高速道路建設プロジェクトへの署名\(24日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[ジャフェロビッチ大統領評議会議長のクリミア・プラットフォーム会合出席\(23日\)](#)

●[シュミット上級代表のブレッド戦略フォーラム出席\(29～30日\)](#)

(2) 二国間関係

●[当地イスラエル大使館による声明\(8日\)](#)

●[イスラエル外務省に対するBH外務省のデマルシュ実施\(9日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[伊藤大使のモスタル市柔道クラブ訪問\(3日\)](#)

●[伊藤大使のブルチュコ訪問\(22日\)](#)

●[伊藤大使の世界カデ柔道選手権大会開会式・表彰式出席\(25日～28日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標

(2) 経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

(注:この月報は、当地紙報道などの公開情報をとりとまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●ウクライナに関する大統領評議会臨時会合の実施(22日)

ジャフェロビッチBH大統領評議会議長のクリミア・プラットフォーム首脳会合参加意向を受け、ドディック同セルビア系メンバーの要請で、ウクライナに関する大統領評議会臨時会合が実施された。

ドディックメンバーは、会合への参加によりロシア等との関係悪化が懸念されるとして、ジャフェロビッチ議長の会合不参加及びBHとしてロシアのウクライナ侵攻に中立の立場を取る旨決議を採択するよう求めたが、他2メンバーにより却下された。

●大統領評議会定例会合の実施(24日)

大統領評議会定例会合が実施され、ドディック同セルビア系メンバーはジャフェロビッチ議長の解任及び自らの議長就任と9月の国連総会出席、シュミット上級代表の刑事訴追、BH・セルビア間ガスパイプライン建設の承認、「オープン・バルカン」参加等を議題とするよう求めるも却下された。

また、同メンバーは新任のドイツ大使へのアグレマン付与に反対票を投じた。1度目の審議において3者の合意が取れなかったため、規定に基づき再度大統領評議会での投票が実施されることとなる。

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●新型コロナウイルス制限措置の変更(4日)

新型コロナウイルスに関する制限措置が変更となり、病院内でのマスク着用が義務化された。本措置は8月4日以降60日間有効であり、感染状況に応じて変更される。

イ スルブスカ共和国

●中国による高速道路建設プロジェクトへの署名(24日)

RS政府と中国CSCEC社の間で、ブコサブリエ〜ブルチュコ間高速道路の建設契約の署名式が実施された。本区間はプリエドル〜バニャ・ルカ〜ベオグラードを結ぶ高速道路の一区間であり、約33キロメートル、費用は約7.65億KMとなる見込み。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●ジャフェロビッチ大統領評議会議長のクリミア・プラットフォーム会合出席(23日)

ジャフェロビッチ大統領評議会議長はクリミア・プラットフォーム首脳会合にオンライン参加し、ウクライナの主権及び領土一体性への支持を改めて表明し、右の侵害を厳しく非難する旨強調した。

●シュミット上級代表のブレッド戦略フォーラム出席(29〜30日)

シュミット上級代表はスロベニアで開かれたブレッド戦略フォーラムに出席した。同代表はパネルディスカッションに登壇し、西バルカンにおける自発的な改革の必要性を指摘したほか、パホル・スロベニア大統領、ライチャーケU特別代表、スロベニア、オーストリア、コソボ各国外相、クロアチア政府代表団等との会談を行った。

●トウルコビッチ外相のブレッド戦略フォーラム出席(29〜30日)

ブレッド戦略フォーラムにはトウルコビッチ外相も出席し、パネルディスカッションに登壇したほか、エスコバル米國務次官補代理と会談を行い、BHのEU・大西洋統合等の重要性等につき強調した。

(2) 二国間関係

● 当地イスラエル大使館による声明(8日)

8日、在アルバニア・イスラエル大使館(BHを兼轄)はBH情勢に関する声明を発表した。声明において、イスラエル大使館はBH選挙法改正に関し、クロアチア系の見方を支持するとしており、これを受けてボシュニャク系を中心に反発が起こった。

● イスラエル外務省に対するBH外務省のデマルシュ実施(9日)

9日、イスラエル大使館による声明を受け、BH外務省はイスラエル外務省及び在アルバニア・イスラエル大使館に対しデマルシュを実施し、声明の意図及びイスラエルの立場について説明を求めた。

これを受け、ブルキツチBH外務副大臣(クロアチア系)は、トゥルコビッチ外相(ボシュニャク系)によるデマルシュ実施はBHの国家としての公式な立場ではなく、トゥルコビッチ外相及び特定政党の見方に基づくものである旨批判を行った。

(3) 日・BH関係

● 伊藤大使のモスタル市柔道クラブ訪問(3日)

伊藤駐BH日本国大使は、モスタル市の柔道クラブ「ボルサ」を訪問し、フラニョ同クラブ代表よりクラブの活動、モスタル市における武道グループの活動につき説明を受けた。伊藤大使より、BHにおける武道の人気につき説明を行うとともに、ボルサによる活動への敬意を表し、今後のさらなる活動を期待して激励の言葉を贈った。



(写真: 伊藤大使とボルサ関係者)

● 伊藤大使のブルチュコ訪問(22日)

伊藤駐BH日本国大使は、ブルチュコ(サラエボから北に約 200km)を訪問し、カドリッチ同市長と会談し、同市政府の活動全般、経済情勢等につき意見交換を行った。また、伊藤大使はミリッチ・ブルチュコ市議会議長とも会談し、ブルチュコの政治経済情勢につき意見を交わした。



(写真: 伊藤大使とカドリッチ市長の会談)



(写真: 伊藤大使とミリッチ議長)

●伊藤大使の世界カデ柔道選手権大会
開会式・表彰式出席(25日～28日)

伊藤駐BH日本国大使は、8月25日から28日までサラエボ市内で行われた世界カデ(15歳～17歳)柔道選手権大会の開会式並びに表彰式に出席した。

同大会(エントリー総勢 463名)には日本から5名の代表選手が参加し、金メダル2個、銅メダル2個を獲得した。



(写真: 伊藤大使と日本代表選手団)



(写真: 表彰式)

3. 経済

(1) 経済指標

●1月～7月の貿易赤字累計56億KM(23日)

本年1月から7月において、BH累計輸出額は105億KMで、前年同期比プラス37.5%。累計輸入額は161億KMで、前年同期比プラス40.2%となり、56億KMの貿易赤字となった。

CEFTA(中欧自由貿易協定)圏への同時期累計輸出額は19億KMであり、前年同期比プラス60.7%。同地域からの輸入額は19億KMで、前年比プラス33.5%。また、EU圏については累計輸出額78億KM(前年同期比プラス36.9%)、累計輸入額91億KM(前年同期比プラス31.1%)

(2) 経済協力

●中国CATIC社の事業所開設(3日)

フォチャにおいて中国国営の中航技術進出口会社(CATIC)の事務所開業式典が行われた。CATIC社はフォチャ近郊のビストリツァ川において水力発電所3基の建設プロジェクト(現在建設中)を担当している(1.03億ユーロ規模)。フォチャ-サラエボ間に位置するビストリツァ水力発電所は遅くとも4年後には稼働開始見込みで、年間152ギガワット時の発電量となる見込み。

●世銀との間での保健・農業支援合意(30日)

ベバンダ財相とシェルドン在BH世銀事務所長の間で、BHの保健システム強化及び農業分野の競争力向上のための融資に関する合意に署名が行われた。それぞれ国際復興開発銀行(IBRD)を通じた6.73億ユーロ及び6.14億ユーロ規模の融資であり、一定額ずつを各エンティティへ割り当てる。